

## 梅垣教授のご退職にあたって

|          |   |
|----------|---|
| 著者       | 村上 陽介   |
| 引用       | 女子大文学. 外国文学篇 梅垣清教授退職記念号.<br>1998, 50, p.4-4                                       |
| その他のタイトル | To Professor Umegaki on the Occasion of His<br>Retirement                         |
| URL      | <a href="http://hdl.handle.net/10466/10527">http://hdl.handle.net/10466/10527</a> |

## 梅垣教授のご退職にあたって

やがてこのような日が訪れることは覚悟していましたが、梅垣教授が大阪女子大学を去られる日がいよいよ間近に迫ってきますと、あらためてその存在の大きさを認識するとともに、これまで何かと助けていただき、教えていただいたことに対する心からの感謝の気持ちが沸き上がってきます。

私が梅垣教授の研究室に押しかけてはさまざまな相談にのっていただいたのは、三百回以上にもなるでしょうか。いろいろな委員としての仕事に関するトラブルであれ、まったく個人的な悩みであれ、いつもの確なアドバイスをいただきました。しかし、なんといっても一番感謝すべきことは、梅垣教授のアメリカ文学に関する卓見を直接、親しくお聞きすることができたことです。ジャンルと時代を問わず、驚くほどの豊富な読書量と、長年にわたる深い思索に裏づけられた、梅垣教授の明晰な評言にこれまで一番多く接したのはおそらく私であろうと思うにつけ、大阪女子大学で十数年にわたって一緒に仕事をさせていただいた幸運を喜ばずにはられません。学生諸君のなかで、卒業論文の審査の日を心待ちにしていた人はそう数多くはなかったらうと思いますが、私にとっては、卒業論文の審査というのは、梅垣教授のコメントを聞かせていただけるということで、一番楽しい年中行事でした。

梅垣教授が去られたあと、私がおの代わりを務めなくてはならないわけで、その責任を痛感しています。残念ながら、これからは、好きなときに梅垣教授の研究室のドアをノックしてご相談にのっていただくということはないかもしれませんが、学会などでお会いした際には、また質問せめにするかもしれません。

退職されたあとも、健康に留意され、ますますご活躍になられることを期待しております。

村上陽介